

# 東郷メディキット株式会社

代表者	代表取締役 中島 崇	主要製品 及び 加工内容	人工腎臓用留置針、輸血・輸液用留置針、血管造影カテーテル等、医療機器製造
所在地	〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6		
TEL	0982-53-8000		
FAX	0982-53-8008		
URL	http://www.togomedikit.co.jp/		
設立	昭和48年6月		
資本金	9000万円		
従業員	729名	主要取引先	メディキット(株)
連絡担当者	総務部		
E-mail	somu@togomedikit.co.jp		
事業所	日向工場（日向市） メディキット日向第二工場（日向市） メディキット日向第三工場（日向市）	認証取得規格等	第一種医療機器製造販売業者許可、 医療機器製造業許可、ISO13485取得

## 企業の特徴・医療機器産業へのPR等

メディキットの創業は、1973年。カテーテルと呼ばれる血管内に入る細いチューブの専門メーカーとしてスタートし、私たちはこのカテーテルで全国の医療現場から高い評価と信頼をいただいています。私どもは、品質の高い製品を医療現場に提供し、日々進歩する医療に対して、提案できる企業であることを基本方針としています。

## 製品写真等

### 人工透析分野

人工透析は、慢性腎不全によって血液中の老廃物や尿毒素を取り除く事ができなくなった方に、人工腎臓を使い、人工的に血液の透析(ろ過)を行う療法です。

当社では、1976年に世界で初めて、フッ素系樹脂のつなぎ目のない、一体成型型カテーテルを人工透析留置針として開発しました。この開発により、従来と比べ一度に出し入れする血液量が増える等、人にやさしい透析が可能となっています。



### 静脈留置針分野

医療現場で安全にご使用いただけるように、針刺し事故(患者さんへ穿刺した針を手元を誤り医療従事者が自らに穿刺してしまう事故)による感染防止を目的に、患者さんへの穿刺後に、安全カバーをかぶせる機能がついた静脈留置針を開発しました。

さらに、この静脈留置針に、院内感染を軽減する目的で世界初の止血弁も内蔵しました。



### インターベンション分野

カテーテルを用いた血管内治療をインターベンションといいます。レントゲンには写らない血管を撮影するために、直径約2mm長さ1m前後のカテーテルを血管に通して造影剤を注入してレントゲンに写し出し、診断をします。当社では、このカテーテルの開発を行っており、最近では上記のような診断に加え、カテーテル治療といった新しい療法に使われるようになっていきます。

